

「令和8年度 京都市感染症発生動向調査事業」委託プロポーザルに関する質問及び回答について

業務名:「令和8年度京都市感染症発生動向調査事業」

No	質問内容	質問意図	回答
1	本業務で受託者が集計・加工等に使用するデータソースとして、当方では「週報」「月報」「全数把握」「全国の感染症データ」「疾病別の警報・注意報レベルの閾値（基準値）データ」を想定しております。実際に京都市様から提供されるデータ（ファイル／データ）の種類（一覧、提供範囲）についてご教示ください。 併せて、上記以外に受託者が参照・利用すべきデータがある場合はご教示ください。	提案の前提となる対象データ範囲を確定し、作業工程・体制・工数見積の精度を高めるため。	データソースは、想定されているとおりです。 国の感染症発生動向調査システムからダウンロードした本市の「週報」「月報」「全数把握」及び「全国の感染症データ」をCSV形式で、「疾病別の警報・注意報レベルの閾値（基準値）データ」はPDF形式で御提供いたします。 一覧、提供範囲につきましては下記質問No2にてデータファイルサンプルとして事前に御提供いたしますので御確認ください。 また、上記以外に5年平均値など過去のデータが必要なものがありますので、事前に御提供いたします。
2	提案内容（作業工程・体制・工数・品質管理方法等）の具体化のため、データソースとなるデータファイルのサンプル、またはデータフォーマット仕様（項目定義、コード体系、ファイル形式、更新頻度等の記載したもの）を、提案書提出前に提供いただくことは可能でしょうか。	データ構造・更新頻度・運用制約を把握し、を含む提案の実効性を高めるため。	データフォーマット仕様、またデータファイルサンプル（週報・月報それぞれ）を事前に御提供いたします。
3	週次で発行する「週報」および月次で発行する「月報」について、当方では、定期的に出力する速報版と、その後の追加報告・訂正等により修正が入った修正版（差替え版）が発生し得ると想定しております。修正版が発生した場合の手順と発生頻度の目安（昨年度の月報、週報での実績値等）併せて教えてください。	作業スケジュール、再提出時のリードタイムを前提条件として明確化し、実効性のある体制・工程で提案するため	週報作業スケジュールは、仕様書別添の2026年感染症発生動向調査（週報）日程表に記載の報告還元日の夕方にデータをお送りし、翌日午前中までに納品いただきます。 納品データをもとに当方で作業を行い、翌日に週報発行となります（例：水曜日データ提供⇒木曜日午前納品⇒金曜日週報発行）。 月報作業スケジュールは仕様書別添の2026年感染症発生動向調査（月報）日程表還元日後の、直近の週報データと併せて月報データをお送りし、週報データとともに翌日の午前中に納品してください。 なお、週報・月報に追加修正があった場合でも、遡及して発行データの差替えは行いません（修正版の納品は不要）。ただし、翌週の週報データと併せて修正データをお送りしますので、保存されている元データは修正してください。 修正の発生頻度ですが、当方では毎週・月のデータ入力を確認したうえで国へ報告していますので、定点医療機関の休診等に伴う追加報告等があった場合のみで年数回程度です。